

第11次岩美町総合計画審議会（第2回） 議事概要

1. 日 時 令和3年11月2日（火）午後2時00分～午後3時15分
2. 場 所 役場 3階 大会議室
3. 出席者（委員） 升田 弘法会長、寺谷さくら副会長、小西 由美委員、飯野 幸義委員
湊 孝明委員、瀬村 諭美委員、博田 幸史委員、山根 栄委員、
森 洋委員、西東 靖二委員、池口 睦生委員、向家 仁委員、
松本 邦裕委員、森 佐知子委員
（事務局） 企画財政課長 大西 正彦、課長補佐 中島 公成、主事 藤原 寿行
*欠席：倉持 裕彌委員
4. 概 要

<議 事>

（1）第11次岩美町総合計画（案）について

（事務局） 資料により説明

<質疑・意見>

（委員） アンケート結果について、1,500人に配布して約35%の回収率という結果である。少ない気がする。計画策定の参考とした場合、足りない部分が出てくるのではないかと思う。

（事務局） 統計としては、要件を充足する。理想は100%だが、他のアンケートも回収率は概ね同様である。町民の皆さんが、現在の町の取組に対してどう感じておられるかの傾向を確認する一つのデータとしては有効なものと考えている。また、自由記載には多数の具体的な事業提案などを頂いている。これらは、基本構想・基本計画（案）を踏まえた各年度の取組に反映されていくものである。

（委員） アンケート結果の自由記載で「いろいろな計画を立てておられるのに、町の事に関心が無くて申し訳ありません。」とある。今回のアンケート回収率からもわかるように多くの町民が同様の感覚ではないかと思う。もっと町民に関心をもってもらいたい。

（会長） アンケートについては、次回以降、回収率が上がるような工夫を望む。

（委員） 子育てに関する提案。公園が少ない。小さくても良いので近くに広場があればいいなと思う。中央公民館前の芝生広場に簡易な遊具を置いて集いの場となればいいなと思う。

その他、情報共有の方法として、例えば県外では、子育て関連の情報発信にアプリを使っている。登録すれば随時情報提供が行われる仕組みを取り入れているところもある。登録に関しても、買い物で立ち寄る場所などにチラシを設置し、容易に目にすることができる工夫がされ

ている。また、アンケート回収について、直接、郵送されると恐怖心がわくこともある。病院などでの個別ヒアリングなどの方がより多くの意見を聞くことが出来ると思う。

(委員) 10次と11次(案)を比較した場合、基本目標や基本計画に掲げられた項目は、表現の変更であり同意と思われるがどうか。

(事務局) 基本構想・基本計画(案)は、大枠となるまちづくりの方向性をお示しするもの。11次の計画(案)は、原則的に10次の計画を引き継ぐこととし、その際、10次の取り組み結果を踏まえて見直しを行っている。結果として、施策分野毎で180度方向性を見直すようなことは行っていないため、基本計画(案)の項目としては10次に類似するものとなっているが、基本構想・基本計画(案)を実現する手法となる各年度の事業では、見直しや新設を行っていくことになる。

(委員) 第2期岩美町地域創生総合戦ではSDGs概念を取り入れていると思うが、本計画(案)ではどうか。また、コロナ禍の経験を踏まえ何か活かされていることはあるか。

(事務局) 町が行う取組は、その全てがSDGsの概念に通じるものと考えているため個別の施策分野で取り上げることは行っていない。基本計画(案)の各項目にSDGsの17のゴールを記すこととしている。また、コロナ禍では対面での取組が実施困難となるが多かったことから、GIGAスクール構想の推進などによる通信技術を活用したリモート対応の環境整備などに取り組むことを盛り込んでいる。

(委員) コロナ禍において岩美病院が力を発揮できることがあるのではないかとと思うが、そのあたりはどうか。

(事務局) 基本計画(案)の基本方針において、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症に対して、地域で求められる役割を担っていくこととしている。

(委員) 商工業においても、コロナ禍で通信を用いた取組として、リモートワークやワーケーションといったことが注目されている。こういった要素は踏まえているか。また、基本計画(案)の数値目標における元号表記に西暦表記を追加すると分かりやすいと思う。

(委員) 計画(案)で示された方向性は良いが、世代により「住み心地の良さ」や「住み続けたいくなる要素」は異なると思う。全ての町民が良いと思う町の実現は困難ではないかと思うがどうか。

(事務局) 全てを同時に行うことは困難であるし、特定の世代に注力したまちづくりを行うという計画(案)にもしていない。計画(案)では全町民を対象にまちづくりに取り組むこととしている。その時々々の状況を的確に判断し、優先順位をつけながら個々の取り組みを進めることになる。

(2) その他

なし